

もっと広げようコミュニケーションの輪 くらしフェスタ東京 2017 に今年も参加しました！

—「10月10日は住宅部品点検の日」の告知と「ジューテンジャー」登場—

一般社団法人リビングアメニティ協会

点検普及消費者対応委員会 委員長 平川 武

東京都消費者月間事業「くらしフェスタ東京 2017」のイベントとして「交流フェスタ」が10月20日（金）～21日（土）に新宿駅西口広場イベントコーナーで開催されました。2日間にわたって開催される交流フェスタでは、消費者団体・事業者団体・行政が「くらし」「環境」「食」「安全対策」「消費者被害防止」「子供」をテーマに生活に役立つ情報の発信が行なわれました。

リビングアメニティ協会の出展は今回が2回目になり、昨年同様に「安全対策エリア」に出展ブースをおき、来場者の皆さまには「10月10日は住宅部品点検の日」をお知らせしながら、直接のご意見などを聞くことができました。

当委員会では、昨年の出展内容を参考にし、新たな啓発ツール・展示方法などの検討を進めてきました。以下、今回の出展内容の概要について記載させていただきます。

《展示パネル》

昨年作成した展示パネルをベースに見やすさ・分かりやすさを考慮し下記のタイトルで4枚の説明パネルを作成しました。

- ①リビングアメニティ協会について / 住宅部品点検の日とは？
- ②住宅部品も経年劣化します！（バスタブ曲線の説明）
- ③不具合を見逃すとと思わぬ事故に！（点検ハンドブックから引用）
- ④ALIAの点検キャラクターがデビュー



《点検キャラクター》

ALIAの点検キャラクターとして“ジューテンジャー”が登場しました。『住（ジュウ）宅部品の点（テン）検』を使用したネーミングは消費者の皆さまに分かりやすく伝わったのではないかと思います。今回は、説明パネル・動画・のぼり旗で使用しました。

また、イラストだけではなく、高さ15cmですが小型のぬいぐるみを作成したことによりキャラクターとしての存在感が増したように思います。今後も様々な場面で活躍して欲しいと思います。



《啓発動画》

“ジューテンジャー”が登場する住宅部品点検の啓発動画を作成しました。モニターでくり返し放映することにより多くの方々に立ち止まり見ていただくことができました。ストーリーは「温水洗浄便座の故障をきっかけにジューテンジャーが登場、住宅部品も劣化し日常のお手入れと点検が必要であること」を漫画にしたスライドで表現します。



ストーリーは「温水洗浄便座の故障をきっかけにジューテンジャーが登場、住宅部品も劣化し日常のお手入れと点検が必要であること」を漫画にしたスライドで表現します。

今後は、キッチン・バス・手すりなどをテーマにした動画を検討していく予定です。

《のぼり旗》

「10月10日は住宅部品点検の日」をデザインしたのぼり旗を作成し出展ブースに掲げることにより、ALIA 出展ブースが来場者の目にとまるよう工夫をしました。ブース全体に華やかさが加わり良かったと感じています。

《アンケート》

「ALIA 展示内容への関心・印象」「住宅部品の点検の必要性」などを項目で来場者アンケートを実施しました。集計はこれからになりますが、結果は今後の活動に反映していく予定です。アンケートに回答いただいた方には、「自分で点検！ハンドブック」の冊子をお渡しし活用していただくように説明をさせていただきました。

《クイズラリー》

クイズ問題は、昨年同様に「『住宅部品点検の日』は何月何日でしょうか？」とし「10月10日」を答えていただく内容にしました。多くの方がクイズラリーに参加していたため『10月10日は住宅部品点検の日』であることを知っていただけたと思います。

《配布物》

昨年同様に「10月10日は住宅部品点検の日 住宅部品も劣化します！」を印刷したポケットティッシュと「自分で点検！ハンドブック」チラシを手渡し配布し多くの方にお知らせすることができました。



開催両日ともあいにくの雨天でしたが、昨年同様に多くの方々にリビングアメニティ協会のブースに立ち寄っていただき「住宅部品の点検」に関する説明員の話に耳を傾けていただくことができました。会話の中で「点検の重要性はよくわかっていてもまだ使えるから」「どこに相談したらいいかわからない」などのご意見もいただきました。出展によりリビングアメニティ協会からの消費者に向けた情報発信と合わせて今後の活動テーマの参考となる情報を入手することもでき、盛況のうちに終了いたしました。

最後に、今回の出展に関してご協力・ご参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

